



ミニかわら版

(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

〒124-0012

東京都葛飾区立石 1-12-11 ヤマダビル

TEL : 03-3694-6091 FAX : 03-3691-6680

「国の借金」、3月末時点で過去最大の約1216兆円

令和3年3月末時点での国債や借入金などを合計した「国の借金」が、前年度末（令和2年3月末）から101兆9234億円増えて1216兆4634億円となり、過去最大を更新したことを、財務省がこのほど公表しました。新型コロナウイルス感染の拡大を受けて編成された令和3年度予算では、追加歳出や歳入不足の財源を全て国債の発行に頼っており、さらに今後の経済対策への財政出動が予想され、国の財政はより厳しい状況になりそうです。

令和3年3月末の国の借金は、令和2年3月末に比べ、国債は約86.6兆円増の約1074.2兆円で全体の約88%を占め、うち普通国債（建設国債＋赤字国債）は、約60兆円増の約946.6兆円となりました。その内訳は、長期国債（10年以上）が約15.6兆円増加して過去最大の約714.7兆円、短期国債（1年以下）も約48.9兆円増の約72.7兆円とともに大幅増となりましたが、中期国債（2年から5年）は▲約4.5兆円減の約159.2兆円となりました。

この「国の借金」約1216兆円は、令和3年度一般会計予算の歳出総額106兆6097億円の約11.4倍、同年度税収見込み額57兆4480億円の約21.2倍となり、年収500万円のサラリーマンが1億600万円の借金を抱えている勘定となります。また、わが国の今年4月1日時点での推計人口1億2541万人（総務省統計、概算値）で割ると、国民1人当たりの借金は、令和2年3月末時点の約885万円から約970万円に増加しています。

わが国の公債残高（普通国債残高）は年々増加の一途を辿っていますが、令和3年3月末見込みの公債残高約906兆円が、令和3年度末（令和3年度予算ベース）では約990.3兆円が見込まれています。これは、令和3年度一般会計税収予算額約57兆円の約17.4年分に相当し、国民1人当たり約790万円にのぼり、将来世代に大きな負担を残すこととなります。ちなみに、国及び地方の長期債務残高は令和2年度末で約1204兆円にのぼる見込みです。

* 参考資料

「国債及び借入金並びに政府保証債務現在高（令和3年3月末現在）」（財務省）

<https://www.mof.go.jp/jgbs/reference/gbb/202103.html>